



本日は【日本で最も美しい村ビューティフルデー】です。

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、平成17年10月4日に大蔵村を含む全国7町村とともに設立され、失ったら2度と取り戻すことのできない「自然」「環境」「文化」などを守り、次世代に引き継ぐ活動を行っています。

「日本で最も美しい村」連合では、10月4日（連合設立日）を「美しい村の日（ビューティフルデー）」として制定し、美しい村が美しいままであり続けていることを地域住民が再認識し、次なる村の将来に向けて機運を高める日です。

本村では、本日（10月4日）役場前において「日本で最も美しい村」連合旗の掲揚と昨日（10月3日）肘折いでゆ館、カルデラ温泉館、ふるさと味来館においてビューティフルデーグッズを配布しました。

《連合に登録されている地域資源》

○四ヶ村の棚田

大蔵村のほぼ中央に位置する四ヶ村地区には、平成11年に「日本の棚田百選」に認定された「四ヶ村の棚田」があります。四季折々に見せるその風景に日本の原風景ともいえるたたずまいがあり、懐かしい風景に心が和みます。四ヶ村地区は豪雪地帯であり、厳しい気候風土と月山・葉山の伏流水が、棚田の米を一層おいしく育てます。

また、四ヶ村の棚田を会場に行われる「四ヶ村棚田ほたる火コンサート」は、1200本のほたる火が灯され幻想的な世界観を演出し、オカリナとピアノの音色が山村に響き渡ります。

現在も先人たちが拓いた日本の原風景を守り、受け継ごうと地元の有志らが保全活動に取り組んでいます。

○肘折温泉郷

肘折温泉には昔、肘を折った老僧が湯で傷を癒したという逸話があり、開湯1200年以上の歴史があります。

現在、山あいの小さな集落に20軒の旅館が立ち並び、湯治場の風情を色濃く残し、温泉街を往く人力車や朝市の立つ温泉地としても有名です。また、環境省の国民保健温泉地に指定され、温泉を健康づくりに活かす取り組みを行っています。その他、夏の夜の温泉街を彩る

「ひじおりの灯」や豪雪を活用した「肘折幻想雪回廊」「おおくら雪ものがたり」などさまざまなイベントも開催しています。

